

# 母子健康手帳の利用法 — 状況とその改善に関する研究 —

西川 凜八・岡本 裕 (日本大学医学部公衆衛生学)

目的：母子健康手帳の改善に資する目的で、その母親の母子健康手帳についての関心の程度と利用の状況を調査し、あわせて医師、保健婦などの医療関係者の利用の状況と認識の程度および実際の使用にあたっての意見を調査し、多角的な検討を試みた。

調査方法：東京都板橋区内の3ヶ所の保健所の協力を得て、4ヶ月児(176名)、1才6ヶ月児(90名)および3~4才児(165名)の健康診断に訪れた母親を対照(総計431名)とした。調査時期は、昭和54年2月から3月までで、質問紙Ⅰによって調査した。さらに、無作為に200の病院・診療所200ヶ所と、保健所20ヶ所を選び、質問紙Ⅱを配布して調査した。

回収状況：母親の質問紙Ⅰの回収率は100%で、質問紙Ⅱの回収率は、医療機関が38%、保健所が65%であった。

調査結果および考察：母親の年齢構成は、20才以下2名、20~25才が68名、26~30才が211名、31~35才が150名、35~40才が17名、40才以上が3名である。

母子健康手帳についての質問紙Ⅰの結果をみると図1のとおりである。

妊娠の診断を受けて母子健康手帳を交付された時期についてみると、妊娠期2~3ヶ月に受け取者が多いのに対して、母子健康手帳を受け取った時期は約2ヶ月の遅れを示した。

母子健康手帳を読んだものは80.7%がほとんど読んだとするもので、読まないと答えたものは0.3%にすぎなかった。よくみるものは7.7%、ときどきみるものが90.3%であった。みるのはどのような時かの質問には、健診のときや予防接種のときと答えたものが多かった。

妊娠経過および育児の手引きとして役にたつかとの質問については、大いに役にたつと答えたものが53.6%で、役にたたないと答えたものは0.9%にすぎなかった。さらにその内容について

は、このままでよいと答えたものが52.4%、もっとくわしく書いてほしいとするものが44.3%、内容が難しく理解できないが8.1%であった。

また、妊娠中や育児に際して何を参考にするかとの質問に対しては、育児書および医師、保健婦などの医療関係者の意見を参考にすると答えたものが多く、これに次いで母子健康手帳の順であった。

健診などの際に、医師、保健婦などから記入してもらった内容について説明を受けるかとの質問については、「はい」と答えたものが41.8%であった。また、病院に診察のたびに母子健康手帳をもっていくと答えたものは75.2%であった。

以上のように、どの程度、母子健康手帳をみるか、手引きとして利用するか、あるいは医師などに提示するかなどによって関心の程度を判断すると、相当程度の関心をもって活用している傾向がみられた。

次に、妊婦および母親自身の記載欄の記入状況を、実際に母子健康手帳をみて答えてもらった。これをみると、全般に記入状況は少なく、とくに妊娠中、産後の体重変化や乳児の身体的発育のグラフの記入欄に記載がみられなかった。今後この欄の活用が、健康の自己管理をすすめる上に重要な意味をもつことを指導することが要求される。その他の項目は、一部記入したものを含めれば、ほぼ80%以上の記載があるが、妊娠から出産、育児についての一貫した記録簿として活用されているとはいいがたい傾向がみられた。

また、母子健康手帳に対する意見を自由に記入させたが、記入欄についての意見が多く、「記入欄が狭すぎる」、「病院での診察欄がほしい」、「色わけ、絵を入れて身近なものにしてほしい」、「6才以後の記入欄がほしい」などが主なものであった。その他にも、「育児、栄養などの項目をくわしく書いてほしい」など少数例ではあるが積極的な意見もあった。

次に、母子保健の医療関係者である医師、保健

婦、助産婦などの利用状況についての質問紙Ⅱの結果をみると図2のとおりである。

実際の診察、健康診断、体重測定などのときに母子健康手帳を使用するかとの質問については、ほとんどの担当部門で使用していると答えている。さらに、母子健康手帳が診察、健診、保健指導の参考になるかとの質問については、参考になると答えたものが大多数を占めたが、「大いに参考になる」と「やや参考になる」の割合はほぼ半々であった。しかし、担当別にみると、産科医、助産婦および保健所の保健婦にやや多い傾向がみられた。本報告の予備調査として、医師や保健婦などの母子健康手帳の記入欄の記載状況を、実際に手帳をみせてもらい検討したが、妊娠中および産後の記入欄の記載が十分なされていたことからみても、産科医や助産婦が健診を行なう際、母子健康手帳をかなり参考にしている点がみられた。小児領域についても類似した傾向がみられたが、産科健診ほど高い活用率ではなかった(抄録、図3参照)。

妊婦や保護者の記載欄にある記入が、健診および保健指導にどの程度参考になるかとの質問については、積極的に参考になるという答えは少なく、妊婦や保護者への記載欄の記入を要望するものが多くみられた。母親自身による記録が、健診や保健指導に十分活用されることが今後望まれる。

次に、母子健康定帳に記載されている記事についての内容に関する質問では、各担当部門ともだいたい良いと答えたものが大部分であった。医師や保健婦などの記載欄についても、だいたい適当であると答えたものが多くみられた。しかし、各担当者とも、10~20%のものが良くないと答え、若干ではあるが小児科医と看護婦に多い傾向がみられた。

そこで、実際に活用する場合の意見を各医療担当者別にみると図3のとおりである。

各々の記載欄に意見がみられたが、一般に多いものは、記入欄を広くしてほしい、あるいは検査項目の欄を増やしてほしいといった意見が目立った。とくに各担当者自身が記入する欄に意見が多くみられたことは、十分な記入を望んでいるということであろう。担当者別にみると、産科医、助

産婦が健診に必要な記入欄を望んでいるのに対し、小児科医は、異常の有無についての意見が多い傾向を示した。保健所の保健婦も、また記入欄の拡張を求める意見がみられたか、これに追加して指導事項の記載についてや、医師などへの確実な記入の要望がみられた。歯科領域に関してはほとんど記載がみられず、今後の問題であろう。

また、その他に母子手帳についての意見を自由に記入させた。この内容を手帳についての意見と記入者への要望とに別けて表1に示した。

手帳についての意見をみると、母子健康手帳の統一化を求めるものが多く、さらに記入の義務制度を作ることが必要とする意見もみられた。記入者への要望については、各担当者への記入の徹底を望むものが多く、とくに出産時および新生児期に集中した。また、保健所の保健婦は、異常者についての医師の記入のあいまいさを指摘するものが多くみられた。その他に、各担当者とも共通して母親への手帳についての指導の必要性を望む意見がみられた。

以上のように、健診や予防接種などの母子健康手帳の提示が必要な際には活用されている傾向がみられた。しかし、日常生活に活用しようとする積極的な姿勢には欠けた点がみられた。今後、健診や保健指導を受ける場合の基礎資料としてだけでなく、自分自身が利用するものであるという認識をもち利用することが望まれる。

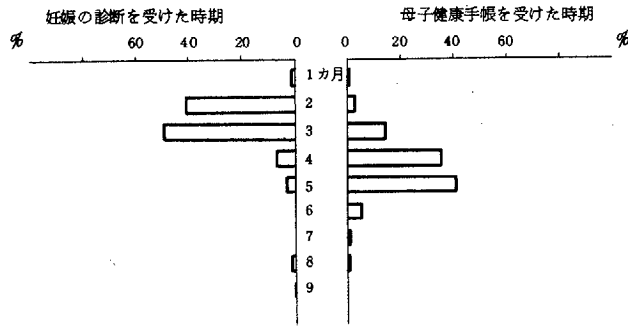
医療関係者の記入状況は良好で、健診などに使用している傾向がみられたが、その記載内容については個々に批判がみられ、徹底した記入を要望する意見が多くみられた。また、手帳に関する意見も相当数みられ、利用についての統一化を望むものが多くみられた。

結論：母子健康手帳の利用状況を多角的に調査した結果、妊婦および母親は健診や予防接種のときに利用する傾向がみられた。自らの記載欄への記入は低調であり、積極的に利用しようとする態度に欠ける点がみられた。

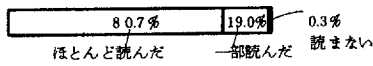
医療関係者は、健診や保健指導の際にほとんど利用しており、とくに産科医、助産婦にこの傾向が認められた。しかし、その内容については批判が多く、徹底した記入を望むものが多くみられた。

図 1. 母子健康手帳についての質問紙 I の結果

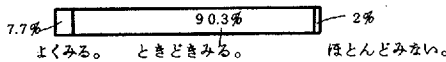
1. 妊娠の診断を受けた時期と母子健康手帳を受けた時期について。



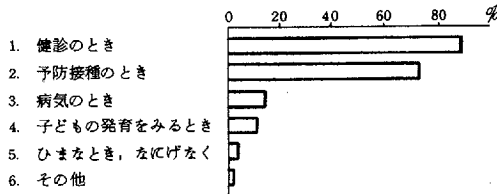
2. 母子健康手帳を読みましたか。



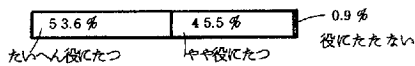
3. 母子健康手帳をよくみますか。



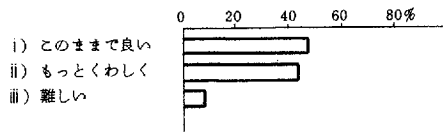
4. 母子健康手帳をみるのはいつですか。(重複集計)



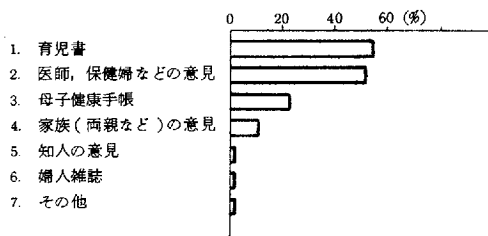
5. 母子健康手帳は、妊娠経過および育児の手引きとして役に立ちますか。



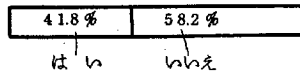
6. 母子健康手帳の内容に関する意見



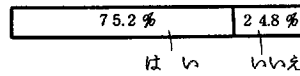
7. 妊娠中および育児に際して何を参考にしますか。(重複集計)



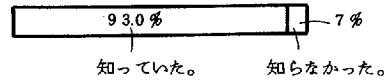
8. 健診や診察などの後に医師、助産婦および保健婦などから記入してもらった内容について説明を受けますか。



9. 病院に診察のたびに母子健康手帳をもっていますか



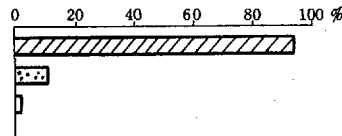
10. 母子健康手帳に妊婦や保護者自身で記入する項目のあることを知っていましたか。



11. 妊婦、母親自身の記載欄の記入状況について、実際に母子健康手帳をみてお答え下さい。

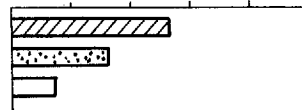
1) 子の保護者の氏名・住所

- i) ほとんど記入した。
- ii) 一部記入した。
- iii) 記入していない。



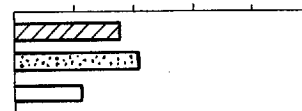
2) 妊婦の職業と環境

- i) ほとんど記入した。
- ii) 一部記入した。
- iii) 記入していない。



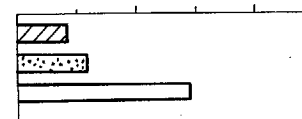
3) 妊婦自身の記録(最終月経開始日, 胎動, 出産予定日など)

- i) ほとんど記入した。
- ii) 一部記入した。
- iii) 記入していない。



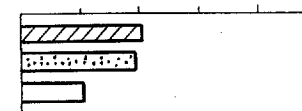
4) 妊娠中, 産後の体重変化のグラフ

- i) ほとんど記入した。
- ii) 一部記入した。
- iii) 記入していない。



5) 子どもの発育経過(1ヶ月, 3-4ヶ月……など)の設問

- i) ほとんど記入した。
- ii) 一部記入した。
- iii) 記入していない。



6) 乳児の身体の発育のグラフ

- i) ほとんど記入した。
- ii) 一部記入した。
- iii) 記入していない。

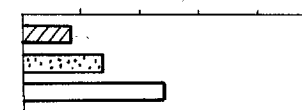


図2. 医療関係者の母子健康手帳についての質問紙Ⅱの結果

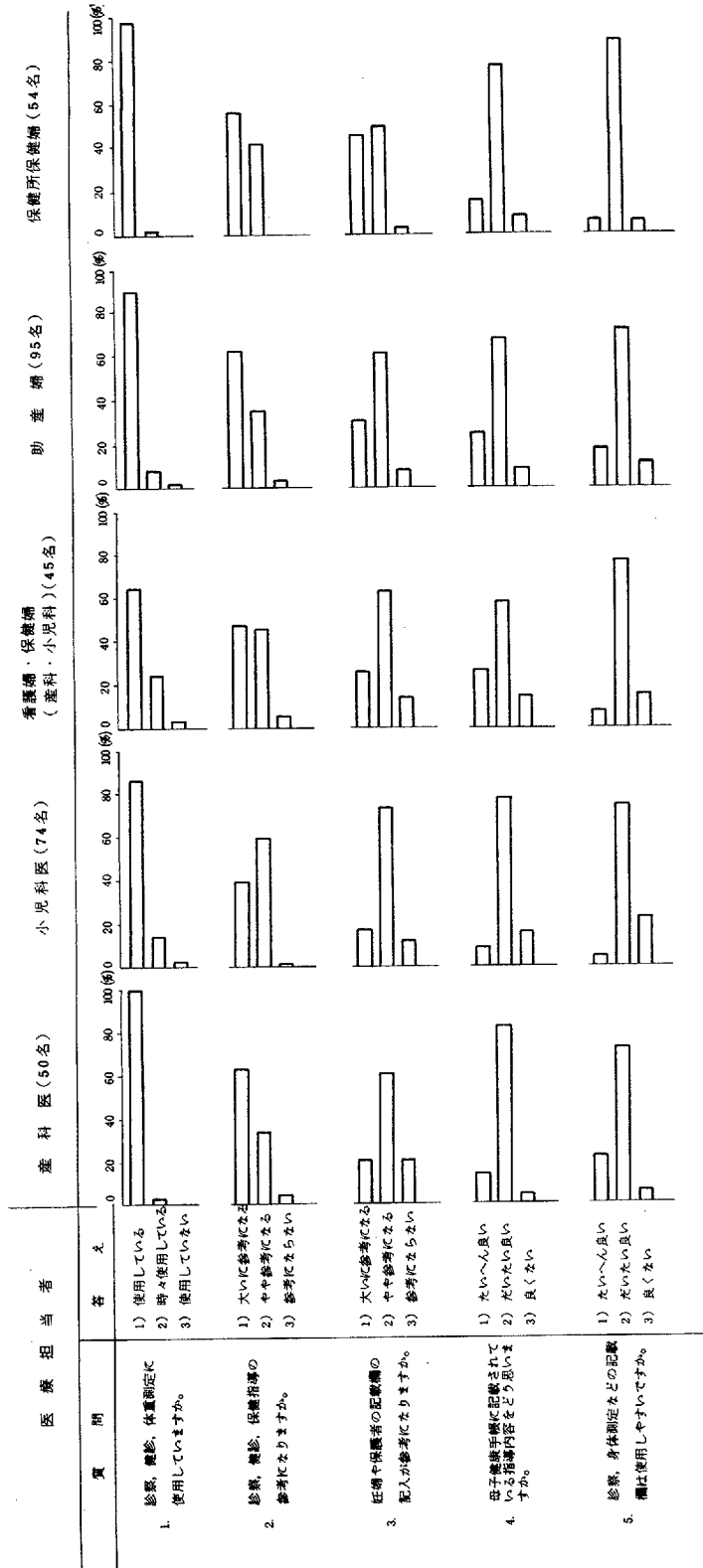


図3 医師，助産婦，保健婦などの記載欄について

1) 妊娠中の経過の欄(妊娠週数，腹囲，尿検査，体重……など)

		意見 (人数:但し重複)
産科医 (50名)		記入欄を広くする。(4) 検査項目の記入欄をつくる。(2) 心音の記入欄をつくる。(2) 風疹などの罹患の有無の欄をつくる。(3)
小児科医 (74名)		異常の有無をわかるように。(2) 風疹などの感染症の記入欄を。(2) 薬剤使用時の欄を。(1)
看護婦 保健婦(45名) (産科,小児科)		貧血の欄をもっとくわしく。(3) 健診を受ける時期の注意書きを。(1)
助産婦 (95名)		記入欄を広くする。(5) 心音の記入欄を作る。(7)
保健所 保健婦 (54名)		検査項目の記入欄を広くする。(8) 指導事項を記載してほしい。(2) 薬剤使用の欄を。(1)

2) 出産の状態(分娩経過・新生児の計測値……など)

産科医		異常分娩の欄をくわしくつくる。(7) 処置の欄をつくる。(2) アブガルスコアの項目をつくる。(2)
小児科医		異常分娩や新生児の経過をくわしく書いてほしい。(9) アブガルスコアの項目をつくる。(16) 新生児の異常欄をくわしく。(4) 必ず記入してほしい。(3)
看護婦 保健婦 (産科,小児科)		分娩経過をくわしく書いてほしい。(5) アブガルスコアの項目をつくる。(2)
助産婦		異常分娩の欄をくわしく。(4) アブガルスコアの項目をつくる。(3) 分娩の経過の欄をくわしく。(1)
保健所 保健婦		異常分娩の欄をくわしく。(1) アブガルスコアの項目をつくる。(1) 母親の訴えと病院側の記入が異なり不満。(6)

3) 産後の母体の経過(子宮復古, 乳房の状態, 血圧……など)

産科医	<p>94% 意見なし 意見あり 6%</p>	記載欄を広くする。(1) 産後1カ月の記載欄を別につくる。(1) 中毒症の後遺症の記入欄がほしい。(1)
小児科医	無回答	
看護婦 保健婦 (産科, 小児科)	<p>87% 意見なし 意見あり 13%</p>	受診の間隔についての注意書きがほしい。(2) 産後1ヶ月の記載欄を別につくる。(2) 記載欄を広くする。(2)
助産婦	<p>86% 意見なし 意見あり 14%</p>	体重の欄がほしい。(3) 記載欄を広くする。(5) 検査(貧血など)の欄をつくる。(8)
保健所 保健婦	<p>74% 意見なし 意見あり 26%</p>	産後1ヶ月の欄を別につくる。(2) 検査(貧血など)の欄をつくる。(4) 異常の欄を別につくる。(1) 未記入が多く不満(8)

4) 妊娠中と産後の歯の状態

産科医	<p>86% 無回答 意見あり 14%</p>	歯科受診の指導が必要。(5)
小児科医	無回答	
看護婦・ 保健婦 (産科, 小児科)	<p>89% 無回答 意見あり 11%</p>	歯科受診の指導が必要。(5)
助産婦	<p>94% 無回答 意見あり 6%</p>	歯科受診していない。(6)
保健所 保健婦	<p>89% 意見なし 意見あり 11%</p>	歯科受診していない。(6)

5) 新生児期の経過(体重, 黄疸など)

産科医	<p>98% 意見なし 2% 意見あり</p>	記入欄を広くつくる。(1)
小児科医	<p>64% 意見なし 36% 意見あり</p>	黄疸のビリルビン値の記入欄をつくる。(8) 異常の欄を広くつくる。(5) ○印を付ければ良いようにしてほしい。(2) 生后から退院までの処置などをくわしく書いてほしい(16)
看護婦 保健婦 (産科, 小児科)	<p>87% 意見なし 13% 意見あり</p>	検査(ガスリー法)の項目がほしい。(1) 異常の欄を広く。(1) 経過の欄をもっと広く。(2)
助産婦	<p>82% 意見なし 18% 意見あり</p>	検査の欄を広く。(6) 異常の欄を広く。(1) 処置の欄を広く。(4) アプガルスコアの項目をつくる。(1)
保健所 保健婦	<p>76% 意見なし 24% 意見あり</p>	黄疸のビリルビン値の記入欄をつくる。(4) 出産の記事の次に入れてほしい。(1) 計測日時がほしい。 異常の部分が意識的に未記入の傾向がある。(2) 異常の場合, くわしい記入がほしい。(7)

6) 乳児健康診査

産科医	無回答	
小児科医	<p>82% 意見なし 18% 意見あり</p>	記入欄を広く。(2) 診療所見を○印で。(1) チェックできるようにしてほしい。(3) 6-7ヶ月のむし歯は不用。(2) 1才までの経過を1頁内にしてほしい。(4)
看護婦 保健婦 (産科, 小児科)	<p>87% 意見なし 13% 意見あり</p>	乳児期の経過をまとめてほしい。(1) カウプ指数の項目がほしい。(1) 1才半の欄がほしい。(2) 記入もれが目立つ。(2)
助産婦	無回答	
保健所 保健婦	<p>86% 意見なし 14% 意見あり</p>	異常ありの記入を医師がしていない。(6) 1才半の欄がほしい。(3) 記入欄を広く。(2)



7) 予 防 接 種

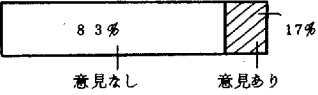
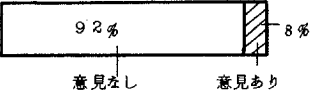
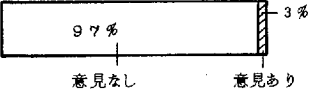
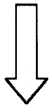
<p>産科医</p> <p>無回答</p>	
<p>小児科医</p>  <p>83% 意見なし 意見あり 17%</p>	<p>変更が多いため、別の手帳を作り併用してほしい。(3)</p> <p>記録の用紙がはれる欄をほしい。(2)</p> <p>配列が系統的でない。(1)</p>
<p>看護婦 保健婦</p>  <p>92% 意見なし 意見あり 8%</p>	<p>接種時期の注意書きがほしい。(2)</p> <p>ツ反の欄を広くほしい。(2)</p>
<p>助産婦</p> <p>無回答</p>	
<p>保健所 保健婦</p>  <p>97% 意見なし 意見あり 3%</p>	<p>ツ反の欄をもっと広く。(1)</p> <p>接種時期の注意書きがほしい。(1)</p>

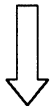
表1. その他の意見および記入者への要望

	手帳についての意見 (人数:重復)	記入者への要望 (人数:重復)
産科医 (50名)	産科医に、手帳の使用についての統一した注意書きが必要。(3) 転院の際の申し込み欄が必要。(2) 妊婦栄養の指導項目をもっとくわしく。(2) 第2子以後も使えるように。(2)	母親自身のくわしい記入を望む。(7) 妊婦への手帳についての指導が必要。(3)
小児科医 (74名)	全国統一し、一定の規則性が必要。(14) 診察・指導項目をO×式にしてほしい。(2) 小児科医の記載欄は、全般に記入しにくい。(5) 目次が必要。(2) 感染症(麻疹、水痘、風疹など)についての記入欄が必要。(2) 6才以後も使えるように。(1)	産科の退院時の記入を徹底してほしい。(29) 母親への手帳についての指導が必要。(2)
看護婦・保健婦 (45名)	全国統一し、一定の規則性が必要。(3) とくに出産時の欄が使いにくい。(2) 指導内容を明記してほしい。(4)	医師の記入(とくに出産時)を確実に。(16) 母親への手帳についての指導が必要。(2)
助産婦 (95名)	記入欄が小さく使いにくい。(2)	
保健所・保健婦 (54名)	記載についての義務制度が必要。(8) 手帳をもっと大きく。(1) チェックする方法がわかりやすい。(1) 交付時の指導が必要。(1) 6才以後も使えるように。(1)	医師の記入が少ない。(18) # とくに異常者が多い。(18) とくに出産時(2) 母親の利用への関心が乏しい。(6)



## 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



目的:母子健康手帳の改善に資する目的で,その母親の母子健康手帳についての関心の程度と利用の状況を調査し,あわせて医師,保健婦などの医療関係者の利用の状況と認識の程度および実際の使用にあたっての意見を調査し,多角的な検討を試みた。